

緑化だより

No.174 令和 3年 8月号



カワラナデシコ

- 季節の花(わすれぐさ(ヤブカンゾウ))
- 昆虫の話(8月のチョウ)
- 小さな世界こけ
(コケが観察できる場所(13))
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

広島県立大学の木々

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp>



季節の花

わすれくさ(ヤブカンゾウ)

「わすれ草 我が紐(ひも)に付く 香具山(かぐやま)の

古(ふ)りにし里を 忘れむがため」

大伴旅人(おおとものたびと) 万葉集 3巻:334

これを訳しますと

(忘れ草を私の腰ひもにつけています。優美な姿の香具山にある、あの懐かしいふるさとを忘れられるように)

60歳を過ぎてから太宰府(九州)の長官として赴任していた大伴旅人は、そこで妻を亡くし身も心もあまりにも辛くて、忘れ草を腰ひもにつけてみたのです。

ある宴の席で、香具山(奈良県)のふもとにある懐かしいふるさとの飛鳥を、望郷の思いを込めて詠った歌です。

ヤブカンゾウの古名は「忘れ草」です。中国では「萱草(かんぞう)」で、憂いをわすれさせる草の由来があり、その由来から日本では「わすれくさ」といわれるようになりました。

この花を持っていると、つらいことを忘れることができると信じられていました。

ヤブカンゾウは、以前はユリ科とされていましたが、最近のDNAを用いた分子系統ではススキノキ科、ツルボラン科、ワスレグサ科(キスゲ科)など諸説があります。

北海道～九州の道ばたや土手、林のほとり、人家の周辺にも多く自生しています。中国から帰化したといわれています。草丈は50～100センチ、夏に約8センチで鮮やかなオレンジ色の花を数個つけます。雄しべと雌しべは花びらのように重なり合い、開いた花はこんもりとした八重咲きで、朝開いて午後には閉じる一日花です。果実はできません。



ヤブカンゾウの花

よく似たノカンゾウは同じような場所に自生し、6枚の花びらを持つ一重咲きです。ヤブカンゾウより一回り小型です。

ヤブカンゾウやノカンゾウの新芽は甘くて美味で、つぼみや夏の花は山菜として利用されます。特につぼみは中国料理の「金針菜(きんしんさい)」として有名で大変おいしい山菜の一つです。また消炎や利尿などの薬用に利用され、ふくらんだ根も薬用にされました。

ワスレグサ属は属名ヘメロカリスで多数の園芸品種があります。(上村)

昆虫の話

8月のチョウ

梅雨が明け、セミの大合唱が始まると夏本番。最近では気温35度以上の猛暑日が増え、熱中症にならないよう炎天下での活動は極力控えたいところです。

さて、セミ同様、チョウも夏に入るときぞかし数が増え、盛夏は個体数が減少し「夏枯れ」と言われます。家とし、猛暑でも朝夕の涼しい時間帯に活発に活動し、生息するヒカゲチョウの仲間3種を紹介します。

まず、クロヒカゲです。5月頃第1化が羽化し、



虫はメダケ、クマザサ等のタケ科植物を食べ、山地から沿岸部・島しょ部まで、ちょっとした林があればどこでもよく見られます。昼間は、林内の葉上等に静止し、樹液や獣糞等を集まります(花の蜜を吸う個体は見たことはありません)。一方、早朝や夕方、曇天時は、目で追うのが困難なほどの凄いスピードで飛び回ります。

2種目は**ヒカゲチョウ**です。前種同様、成虫は年3回、5~10月に出現し、幼虫はタケ科植物を食べます。県内に幅広く分布しますが、前種よりはやや明るい雑木林を好み、個体数が若干少なめです。樹液や獣糞に集まるほか、焚火の跡に好んで集まり、なぜか夕刻の活動時に農家の土間や納屋によく飛び込んできます。前種と次種は中国大陸、朝鮮半島等国外にも広く分布しますが、本種は日本特産だそうです。

3種目は**クロヒカゲモドキ**です。成虫は年1回、7月中旬から8月に出現します。また、前2種がタケ科植物に寄生するのに対し、本種はススキ、ネザサ等イネ科植物に寄生します。県内の分布はかなり局地的で、西中国山地と帝釈峡周辺に産地が多く、当園の近隣では広島市安佐北区内の安佐町で見つっています。園内にも生息していないか以前から注意していますが、残念ながら今のところ筆者は見たことはありません。

最後に一言、ヒカゲチョウの生活リズムで、猛暑を乗り切りましょう!(相良)

小さな世界 こけ

コケが観察できる場所(13)

園内各所、コンクリートの壁などを一面被っているのは**ハマキゴケ**です。

市街地のブロック塀や側溝などでも普通に見られるコケです。

石灰質を含む場所を好み、人間の影響のない所では石灰岩地帯に自生しています。湿り気のあるところから陽がよく当たり乾燥したところまで広い範囲で生育し、生育場所により濃い緑色や褐色を帯びます。

湿った時と乾燥した時では見た印象はかなり違います。葉は湿ると開きますが、乾燥すると葉の縁から内側に巻き込みます。乾燥の程度により三角形や、筒状に見えることがあります。乾燥すると強く巻き込みます。このことが名前の由来になっています。

タバコの葉巻ではありません。

ネジクチゴケやツチノウエノゴケも同じような環境に生育し、見分けにくいかもしれませんが、ハマキゴケは孢子体ができにくく、無性芽で増えることが多いようです。葉は長さ約2.0mmの楕円形で、中肋は太く葉の先まで伸びています。それに比べ前2種は、葉が細く尖った披針形、孢子体をよくつける、などで判別します。(山根)



湿った時のハマキゴケ



乾燥したときのハマキゴケ

研修会のご案内

○ 8月 1日(日) 『夏休み自由工作塾』

※ 自由参加、随時受付、材料費1作品100円、雨天中止

10:00~15:00 レストハウス裏庭

講師：緑化センターボランティア

ふれあい湧

- 8月 7日(土) 『はじめてのコケテラリウム』 10:00～12:00 学習室 集合
コケテラリウムに挑戦! 初心者向き 講師: 森林インストラクター 長井 稔
※要予約(先着20組)、材料費1,500円
- 8月 8日(日) 『自由工作塾』 10:00～14:00 レストハウス裏庭
※自由参加、随時受付、材料費1作品100円、雨天中止 講師: 緑化センターボランティア ふれあい湧
- 8月 8日(日) 『ネイチャーゲーム』 10:00～14:00 レストハウス裏庭
※自由参加、随時受付、無料、雨天中止 講師: 広島市 シェアリングネイチャーの会
- 8月 22日(日) 『水生昆虫を探してみよう』 10:00～12:00 第2駐車場 集合
溪流の水生昆虫を採集して、観察 講師: 瀬野川水系水生生物研究所 保光 義文
※要予約(キャンセル待ち)、無料、雨天中止
- 8月 22日(日) 『夏休み自由工作塾』 10:00～15:00 レストハウス裏庭
※自由参加、随時受付、材料費1作品100円、雨天中止 講師: 緑化センターボランティア ふれあい湧
- 8月 29日(日) 『夏休み自由工作塾』 10:00～15:00 レストハウス裏庭
※自由参加、随時受付、材料費1作品100円、雨天中止 講師: 緑化センターボランティア ふれあい湧

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、参加者はマスク着用、手・指の除菌、密集・密接を避けるようご注意ください。また状況によっては、研修内容の変更や中止となる可能性があります。ホームページ、お電話等で最新の情報をご確認ください。

☆お知らせ・ご案内☆♪

第19回 ひろしま「山の日」県民の集い 8月8日(日) 10:00～14:30
(レストハウス裏庭)
自由工作、ネイチャーゲーム

◎ 展示会

場所:レストハウス
(パネル展示)

令和2年度広島県愛鳥週間ポスター
入賞作品展 ～8月3日(火)

鬼滅の絵筆展
～コロナにも夏の暑さにも負けず～ 8月11日(水)～9月10日(金)

場所:学習展示館
季節の花 写真展 ～8月31日(火)



「鬼滅の絵筆展」より